

活動情報



第 22 号



パソコン簿記初級講座を開催

－ 複式簿記で経営状況を把握するために －

飯塚地域担い手・産地育成総合支援協議会（事務局：飯塚普及指導センター）は、認定農業者や新規就農者等、地域農業の担い手の経営改善に向けた取組の一環として、経営管理講座を実施しています。

今回、パソコン簿記の初級として、11月6日から11月19日にかけて、普及指導センターで全3回の講座を開催しました。受講者17名を対象に、第1回と2回はセンター職員が複式簿記の基礎知識について説明した後、第3回の講座では、ソリマチ株式会社から講師を招き、簿記ソフトの体験版を活用した記帳の演習を行いました。

受講者の多くは就農3年未満の新規就農者でしたが、受講者は自身の経営状況を的確に把握しようと、毎回熱心に受講していました。アンケートでは、ほとんどの受講者が「記帳や簿記の大切さが理解できた」との回答でしたが、「パソコンへの入力についてもう少し説明して欲しい」との要望がありました。

協議会では、12月から2月まで、希望者に月1度のペースで、記帳の支援を行いながら、経営状況の把握や分析を指導していくこととしています。

今後とも、普及指導センターでは、協議会の活動と連携しながら、地域農業の核となる経営体の育成に取り組んでいきます。



複式簿記の基礎知識を説明



複式簿記ソフトの入力方法を説明